

県会長挨拶 テーマ「一つに」～変革する青年経済人～ 第51期県会長 徳田 豪



第51期県会長を拝命いたしました徳田豪でございます。第50期足立県会長よりバトンを受け、この7月より第51期をスタートいたします。

私は中央会が大好きです。良き仲間と出会え、私の人生は大きく転換したと思います。その大好きな中央会メンバーも減少の一途をたどっています。現在の日本は混沌としており、何が正しいのか簡単には言葉で表せない状況が続いております。

我々が住む、鳥取県も昭和63年の613,000人をピークに人口を減らし続け、経済活動も衰退・疲弊しています。また2019年12月よりの世界的感染症拡大により更なる苦難が続ぎ、コロナが5類になった今日でも鳥取の経済は回復しているとは言い難い状況にあります。

私ども鳥取県中小企業青年中央会は、オイルショックの後に、当時の青年経済人がこのままでは駄目だと「中小企業の発展」「後継者の育成」を目的に立ち上げた組織と聞いております。現在の経済危機はオイルショックにも引けを取らない状況だと思えます。昔は、「我が一番」と他社との競争の中、成長を促してきた時代がありました。今の時代は、他社との協力により成長していく時代だと思えます。現在の日本が混雑としている中、鳥取を変革していくのは地元根付く我々、青年経済人だと思えます。

「英知」「友愛」「団結」の綱領の鳥取県中小企業青年中央会は、鳥取県内に事業所有する次代を担う青年をもって組織され、東部・中部・西部あわせて、約200の企業で構成されている組織です。我々自身が考え、全員の力を集結・協力し、地域とともに成長することが変革につながると考えています。そこでテーマを「一つに」とさせていただきます。我々青年中央会が一つとなり、課題先進県である鳥取に活力を与える一年になるよう精進してまいります。



令和6年度 卒業例会 CONCEPT委員会 委員長 米花 佳紘

まずは12名のご卒業の皆様、この度はご卒業おめでとうございます。そして、長きにわたる青年中央会での活動、本当にお疲れさまでございました。この度の卒業例会は、卒会生の新たな門出を心より祝福をするともに、卒会生が築いてきた「色」と、これから歩まれる道の「色」とをつなぐ卒業例会を実施致しました。それぞれの委員会のやり方で卒会生に記念品をお渡し頂き、中盤では卒会生に想いを伝えたい方に手紙を読んでいただきました。関わってくださった関係者の方々、そして委員会メンバーには本当に感謝しかございません。最後にCONCEPT委員会の皆様、こんな頼りない委員長についてきてくださり本当にありがとうございました。

令和6年度 卒業生

松島 祐一	有限会社 松島工芸社／2007年度入会	高橋 央	株式会社 Route-A／2017年度入会
吉田 雅之	(有)フラワーショップヨシダ／2009年度入会	谷口 拓史	株式会社 ASA鳥取東／2020年度入会
田中 雄之	(株)鳥取オリコミセンター／2009年度入会	中村 喬	株式会社 CvT／2020年度入会
長谷 忠	有限会社 河原工業／2010年度入会	柳澤 彩	Ange／2021年度入会
松村 雅文	鳥取信用金庫／2014年度入会	長代 洋知	LLuLL hair／2022年度入会
田村 悟	株式会社 若狭屋／2016年度入会	濱田 陽介	株式会社 pleasure／2023年度入会



鳥取県東部中小企業青年中央会 会報

2025年7月発行 N.216

発行人:大塩 憲司(第51期 会長)
編集責任者:田中 雅士
編集委員会:サブライム委員会



- 網 一、われわれは自己の研鑽に努め、英知を養う。
領 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

URL <http://www.tsc21.gr.jp/>
E-mail tsc@tsc21.gr.jp
FB <https://www.facebook.com/east.chuoukai/>



会長挨拶 テーマ「全員主役」～自分の居場所は自分で創る～ 第51期 会長 大塩 憲司



皆さま、こんばんは。今年度第51期会長を務めさせていただきます、大塩憲司です。どうぞよろしくお願い申し上げます。怒涛の50周年イヤーを、全会員が一丸となって無事に完走し、いよいよ令和7年度がスタートいたしました。皆さまは、どのような気持ちで新年度を迎えられたでしょうか。私は、期待と希望に胸を膨らませております。

今年度のテーマは『全員主役』としました。これは、誰かに任せるのではなく、会員一人ひとりがこの会の活動を“自分ごと”として捉え、「自分たちでこの会を創っているんだ」という想いを持って関わってほしい、という願いを込めたものです。この中央会には、成長のチャンスがたくさん転がっています。上手いかなくても大丈夫。試行錯誤そのものが、貴重な学びになると信じています。自ら動き、挑戦することで初めて、

自分らしく活躍できる場が創られ、仲間がで、そしてそれが成長へとつながる——その実践の場こそが、私たち青年中央会であると信じております。

32期に入会し、早いもので19年目を迎えました。入会当初は右も左もわからず不安な時期もありましたが、中央会でのさまざまな活動を通じて、多くの先輩方や同年代の仲間たちと出会い、励まされ、支えられて、今日の私があります。はじめは、自分が会長を務めることになるとは夢にも思っておりませんでした。時間が過ぎる中で、いつしか「自分も会長をやりたい!」と強く思うようになりました。そして今、実際に会長に承認されてからは、その重責に押しつぶされそうになることもあります。しかし、そのたびに私を奮い立たせてくれるのは、やはり中央会で出会った仲間たちの存在です。

自分自身の挑戦のために、そして何よりも、この中央会のために、私にできること、やらなければならないことに、全力で取り組む所存でございます。私も主役、皆さまも主役です。ともに笑い、ともに学び、ともに前へ。一人ひとりが主役となって、ぜひ一緒に、この青年中央会を盛り上げてまいりましょう。

直前会長挨拶

直前会長 藤原 正実



令和6年度、東部中小企業青年中央会は創立50周年という大きな節目の年を迎えました。この一年間、多くの記念事業を展開する中で、会員・OB・OGの皆様をはじめ、団体中央会様、関係各機関の皆様、そして地域の多くの方々から多大なるご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。おかげさまでもちまして、無事に51期へとバトンをつなぐことができました。

記念事業においては、会員一人ひとりが力を持ち寄り、挑戦を恐れず行動したからこそ、魅力ある事業を共に創り上げることができたと実感しております。この取り組みが、今後の会員一人ひとりの成長につながる糧となることを願っております。また、鳥取地域における青年中央会の在り方や、未来を見つめ直す貴重な機会を得られたことも、非常に意義深い経験となりました。この経験を糧に、第51期の新たな体制のもと、

会がさらなる発展を遂げ、地域を牽引する存在であり続けることを願うとともに、微力ながら大塩会長を補佐し、引き続き尽力してまいります。

50周年という節目を経て、いま私たちは「次の100周年」に向けた新たなスタートラインに立っています。青年中央会を取り巻く環境は、これまで以上に複雑さを増しており、特に会員の減少は喫緊の課題として真摯に向き合わねばなりません。また、物価高騰への対応など、時代の変化への柔軟な対応も求められています。

「時代に挑み、次代を創る。」当会のスローガンそのままに、今まさに私たちの姿勢が問われていると感じています。だからこそ、会員一人ひとりが主体性を持ち、積極的に事業へ取組むことが何より重要だとおもいます。

一人一人が主役となり会を引っ張っていく！大塩会長の掲げるテーマのもと、「挑戦を恐れず、果敢にチャレンジしていく」そんな青年中央会らしさあふれる令和7年度の一年となることを、心より期待しております。

私も青年中央会卒会年度。最後の1年挑戦を楽しんでまいります！

新委員長 挨拶

博田 則次 委員長 プラットホーム委員会



令和7年度、委員長を務めさせていただきます博田と申します。一年間よろしくお願いします。

会員一人一人、目標があり日々中央会活動をされていると思いますが、目的の場所へ向かっている途中に立ち寄れる場所として「人が集まる場所」を作れたらと、プラットホーム委員会と名付けました。テーマを「リーダーシップ」×「チームビルディング」とし、心理的安全性を確保し、気軽に意見を言い合える仲間づくりを目標に、心に残る一年にしていきたいと思っています。

田中 雅士 委員長 サブライム委員会



51期、サブライム委員会の委員長を務めます、田中雅士です。私は、中央会を活用して、自身の可能性をさらに昇華(サブライム)させ、それが中央会とその他の団体へも影響力を持つ自身の力となるような人材の育成を目的とした委員会を行います。

今後の会の問題点は、会員減少と、それに伴う役員になるべき人材の減少です。自分が会に存在している意味と役割を、この短い一年の間に考えながら活動して行きます。「全員主役」になるための人材育成をどう行うか。若い会員がメインの委員会となりますが、一年間よろしくお願いいたします。

山田 庸介 委員長 Scheme委員会



本年度委員長を務めさせていただきます【Scheme(スキーム)委員会】の山田庸介です。

当委員会では「プランニングの先を知る～計画から実現へ～」をテーマに掲げ、実行力のある組織づくりを目指します。計画を描くだけでなく、マネジメント力、

戦略的思考、そして組織間の連携などについて考え、学び、構想を確実な形にする為の知識と力を磨いていきます。

また、創造力と共創力を大切に、多様な視点を融合させながら、より良い未来を共に創り出す活動を展開していきます。1年間を通して、委員会メンバーが成長を実感できるような活動を目指します。

山田 誠 委員長 防災対策委員会



今年度、委員長と総務を務めます山田誠です。当委員会は、「防災」をテーマに活動します。企業訪問をさせて頂き、VRで災害の怖さを体感して、講師の方から防災の基礎知識を学び、自分の大切な人やスタッフや仲間を守る方法・災害時の行動を理解してもらいます。そして、青年中央会としても災害で共助の立場も勉強し、地域にも貢献出来る事も成果としてあげる機会をつくっていききたいと思います。この経験を通じて、『この委員会に所属して良かった』と感じてもらえるように一年間全力で活動して、来期に繋げていきます。皆様、一年よろしくお願いいたします。

石田 亮 委員長 ねくさす委員会



今年度、ねくさす委員会の委員長を務めます石田です。

当委員会のテーマはねくさすです。ねくさすの意味は、つながり・結びつき・交差点という意味の言葉です。

違う経験や考え方をを持った人たちが交わり、一人では生まれない気づきや価値

が生まれる。今年は、そんな“つながりの場”を目指して活動していきます。ビジョンは、「多様性の中にある協調と共創の力を育む」・ちがいを壁にするのではなく、つながるきっかけに変えていけるような、一年にしたいと思っています。どうぞ1年間、よろしくお願いいたします。

大門 和輝 委員長 ISO委員会



ISO委員会は、多様な視点や個性を大切にしながら、日常の出来事やアート、感情の動きから気づきを得て、考える力や柔らかな感性を育む場です。「ISO」には、自分らしい考えを大切にすることと、人との違いを感じ取り分かち合う意味が込められています。それぞれの気づきやひらめきを、言葉や行動、企画としてかたちにし、今ここにしかない価値をみんなで共有していきます。

新副会長 挨拶

山下 大輔 副会長



第51期大塩年度において、副会長を務めさせていただきます山下大輔です。

在籍8年目となり、これまでの経験を活かし、皆さまの活動をサポートできるよう努めてまいります。また、担当させて頂くプラットフォーム委員会とサポート実行委員会の活動を通じて、組織の発展と円滑な運営に貢献できるよう心掛けてまいります。

皆さまのご意見やご協力を大切にしながら、より良い環境づくりに努めてまいりますので、一年間よろしくお願いいたします。

船越 誉裕 副会長



51期3度目の副会長に選任いただきました、サブライム委員会担当、船越誉裕です。昨年度まで2年間にわたりイベント実行委員長をさせていただきましたが、今年度は副会長という立場で委員会の活動方針である【意思決定力】×【行動力】をみんなで高めるため、田中雅士委員長、伊木

副委員長、そして若手の委員会メンバーを全力でフォローしてきたいと思います。担当例会は、9月手作り例会と6月卒業例会です。今年度は多数の会員が卒会されます。笑いあり涙あり、その方に合ったシチュエーションで、気持ちよく卒会していただけるよう取り組みたいと思います。

太田 裕秀 副会長



本年度、初めて副会長を務めさせていただきます太田裕秀です。大塩会長を筆頭に、青年中央会の綱領「英知・友愛・団結」を大切にしながら、会の発展に少しでも力を尽くせればと思っております。

また、今年度のテーマ「全員主役」のもと、担当のScheme委員会では山田委員長・末次副委員長をしっかり支えつつ、イベント実行委員会の副会長としても活動してまいります。それぞれの委員会の皆さんと、一年間楽しく充実した活動を進めていきたいと思っています。どうぞ一年間よろしくお願いいたします。

西尾 崇 副会長



2回目の副会長を務めさせていただきます、西尾です。早いもので入会して19年目を迎えました。

本年度は、防災対策委員会を担当させていただきます。「備えあれば憂いなし」と言われるように、日頃からの準備こそが、いざという時に命を守る鍵となります。

委員会活動はもちろん、中央会としての活動においても、平時からの備えを大切に取り組んでまいります。また、大塩会長が掲げられている本年度のテーマ「全員主役」のもと、私も副会長として会長をしっかりと支えてまいります。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

北脇 規靖 副会長



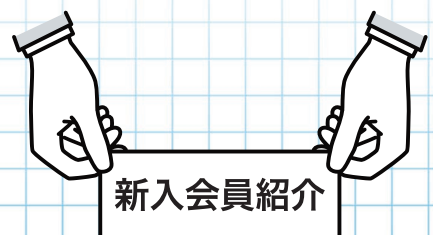
本年度、初めて副会長を務めさせていただきます、北脇規靖です。これまで自身を成長させてくれた青年中央会に感謝の意を持ちながら、自分らしく大塩会長を盛り上げ、年度テーマ「全員主役」の実践に貢献したいと思います。担当の石田委員長、山根副委員長率いる「ねくさす委員

会」では会員同士が繋がっていく様や多様性、個性を楽しみながらサポートしていきます。また、担当委員会に4名いる卒会生からの想いを受け取りながら、1年間苦楽を共に出来たらと思います。自分自身も引き続き勉強させていただきます。皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

福間 龍馬 副会長



本年度、副会長を務めさせていただくことになりました福間龍馬です。青年中央会には入会して5年目となります。まだまだ正直、中央会内ではヒヨッコ同然かと思っています。大塩年度の『全員主役』というテーマを念頭に置いて一年間しっかりと大塩会長を支えていこうと思っております。担当委員会は『ISO委員会』となりますので大門委員長、西尾副委員長の作り上げる委員会を全力でサポートして素晴らしい委員会活動が行えるようにしてまいります。担当例会はオープン例会、3月例会となっております。全会員を巻き込むような委員会が出来るのを楽しみにしております。一年間宜しくお願いします。



新入会員紹介



岸本 延幸 会員

鳥取信用金庫

趣味: ゴルフ

所属: ISO 委員会



谷口 拓也 会員

株式会社 イータス

趣味: ゴルフ、ダーツ

所属: サブライム委員会



川上 凜 会員

BARPEAK'D, lvy

趣味: ドライブ、釣り

所属: サブライム委員会



田村 友樹 会員

(有)フラワーショップヨシダ

趣味: なし

所属: サブライム委員会



越中 恒二 会員

有限会社光琳

趣味: お酒

所属: ねくさす委員会